

公益社団法人 岐阜青年会議所
10月公開例会 市民フォーラム

10月公開例会時に書面にてご質問頂いた内容について、お答えできるものに関して富野監督よりお答え頂きましたので、添付させていただきます。

尚、今後ご質問頂いても、お答え出来ませんので予めご了承下さい。

◇富野由悠季監督への質問 (以下、市民の方の質問原文)

【質問1】

- ・富野監督は、途中でお名前を改められましたが、何故ですか？ また由来があれば教えてください。

ペンネームを設定したのは、げんかつぎ、からです。

験を担ぎ、ですね。

水商売ですから、実名から姓名判断をしてもらったら、短命で終わるといふ卦がでましたので、そのような判定をなさる方に作って貰った名前なのです。字面が気に入りましたので、それで採用したということです。このためにガンダムが長寿の名前になったのではないかと勝手に信じています。

【質問2】

- ・最近のドラマやアニメ等は娯楽性が強くなり、メッセージ性が薄い様に感じます。監督の作品はメッセージがあり考えさせられる事が多いですが、現在のアニメの状況をどう思われるでしょうか？

時代の流れですから、どうしようもないと思っています。だからこそ、メッセージ性の強い作品が登場する時代がまた来る、とも思っています。

時代はバイオリズムと同じで波があります。これもまた個人ではどうしようもないことで、この時代性を読むことが仕事全般を考える上で重要だと考えていますので、“自分の思いだけでなんとかなる”と思いつまぬ視野の広さが要求されるのです。そのためには、たえず勉強するしかないのではないかと、思っています。

【質問3】

- ・これからの世代（10～40代）に求めるものは何かありますか。例えば、10代ならより勉強しろ、20・30代なら自分で考えて働け！など具体的なメッセージ、アドバイスがあればお願いします。また、これからの世の中（日本）において必要となってくるもの（能力など）があれば一言お願いします。

質問者がお考えの通りなので、付け加えることはありません。しかし、時代が一辺倒の考え方で進むわけがありませんので、今、流行っているものでないものはなにか、と考えると、世の中を観察する必要はあると思います。

とはいえ、まったく新しいものを考える、探すというのではなく、アレンジする、ちょっと手を加えて新しい商品にする、新しい企画を考える、という視点を持つべきです。

ビジネス上のイノベーションのあり方は、基本は改善であって、まったく新しいものを企画しろ、と言うことではありません。

発想の基点は、これからの生活に必要なもの、生活感や嗜好の不足感を満たすもの、ということではないでしょうか？

【質問4】

- ・今回、岐阜にお越しいただきましたが、街の様子はいかがでしたか？また、富野監督が岐阜にいる若者だとして、今の岐阜に残りたいと思いましたか？

町として全体を統合するものが不足しているのではないかと、お城を中心にした立体感がないな、と言う感覚がしました。

それは川の性かもしれませんが、長良川の存在こそ特徴なのです。

パリのセーヌ川と同じような捉え方をしていけば、次の発展のための視点を見つけられるのではないのでしょうか？

小生は、箱根山を背負った町で育ちましたので、岐阜には残れません。

好き嫌い以前に、体に刷り込まれてしまった郷土感覚としてのものは、抜きがたいものがあります。

【質問5】

- ・SFアニメを観て成長し、その夢を実現させる為に、技術的分野や宇宙開発等の世界に飛びこんでいった人達もいると思いますが、その志の原点となる作品を作ってきた方々の一人として、各分野で活躍する人達に何かしらのメッセージをお願いします。

技術は未来を拓くものであり、決定的にその継承と開発は必要なのですが、21世紀以後の技術が人類の生活にどこまで必要なものと検証しなければならぬ時代に来たと思っています。

技術革新が人そのものの性能を劣化させる方向に進んでいる側面があるからです。

今後、この視点は社会問題化していくのではないかと考えています。

そのためにも、自分たちの研究開発する分野のものが社会にどのような波及効果をもたらすのか、という想像できる素養を身につける必要があります。

これは急務になるでしょう。

電子ゲームは文明社会に必要なのか、長寿は絶対善なのか、といった視点からの検証が必要ではないか、ということです。

この問題について提言できることはありませんから、次の世代の方たちに研究し、検討していただきたいのです。

2012年11月8日